

公益社団法人くまもと被害者支援センター

令和4年度（2022年度）事業報告

I 基本方針

公益社団法人くまもと被害者支援センター定款第3条に掲げる目的「犯罪及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為の被害者及びその家族又は遺族（以下「被害者等」という。）に対して、精神的支援その他の各種支援活動を行うとともに、社会全体の被害者支援意識の高揚を図り、もって犯罪被害者等の被害の回復及び軽減に資すること」の達成を目指す。

第1 令和4年度の重点目標

- 1 相談員の資質向上及び人材育成
メールやSNSによる相談に対応できる体制整備のため、相談員の資質向上や、世代交代を見据えた新たな人材の確保育成に努めた。
- 2 効率的効果的な財政運営
賛助会員数及び会費収入は減少傾向が続き、収支は大変厳しい状況にあることを踏まえ、効率的効果的な財政運営に努めた。
- 3 広報啓発の充実強化
コロナ感染症拡大の影響により、イベントの実施や街頭でのチラシの配布等啓発活動があまり実施できなかった。WEBでの情報発信とともに、市町村、県や県警等関係機関と連携した広報啓発活動の展開に取り組んだ。

II 犯罪被害者等に対する支援事業（公益目的事業1）

第1 相談事業 ※（ ）内は、前年比増減数

令和4年度の被害者支援センター及びゆあさいどくまもとの合計相談受理件数は1,523件（-479）で、詳細は別紙のとおりである。

1 電話相談（メール、手紙等含む）事業

令和4年度の電話相談等の受付件数は1,367件（-423）で、前年度比支援センターは約41%、ゆあさいどくまもとは約84%と大きく減少している。その主な要因として、特に支援センターにおいて直接支援が必要な案件が減少しており、弁護士相談や検察庁等への付添い等被害者等に対して継続して相談に応じる件数が減少したことなどが考えられる。

なお、新規相談件数は286件（-9）であった（内ゆあさいどくまもと232件（-3））。

	支援センター	ゆあさいど	合計
電話	101件 (-154)	956件 (-253)	1,057件 (-407)
メール	25件 (-31)	274件 (+20)	299件 (-11)
手紙	4件 (±0)	4件 (-8)	8件 (-8)
その他	0件 (±0)	3件 (+3)	3件 (+3)
合計	130件 (-185)	1,237件 (-238)	1,367件 (-423)

※全国共通ナビダイヤル (0570-783-554) 受付件数 1 件

1-2 ゆあさいどくまもとの年末年始の対応について

ゆあさいどくまもとの年末年始の休業期間 (12月29日～1月3日) に、「性暴力被害者のための夜間休日コールセンター」で受け付けた件数は以下のとおりである。

コールセンター受付件数 7 件 緊急対応件数 0 件

2 面接相談事業

電話相談の結果、面接相談が必要と思われる被害者等に対し、面接相談を行った件数は156件 (-56) で、内ゆあさいどくまもとが142件 (-9) となっている。

3 専門相談事業

(1) 心理相談

電話・面接相談の結果、カウンセリングが必要と思われる被害者等に対し、センターに登録された協力公認心理師等による心理相談を行った。

相談件数 5 件 (-3) (その他県警心理士による心理相談 1 件)

(2) 法律相談

電話・面接相談の結果、法律相談が必要と思われる被害者等に対し、センターに登録された協力弁護士による法律相談を行った。

相談件数 18 件 (-11)

4 SNS相談事業

内閣府が実施する「性暴力に関するSNS相談事業」に参加し、SNS相談を実施した。

令和4年度開設日 365日 17時～21時

第2 直接的支援事業 ※()内は、前年比増減数

1 危機介入事業

犯罪被害者等早期援助団体への警察からの情報提供による支援要請や、被害者等の要望に応じて、犯罪被害直後から支援が必要と認められる被害者等に対し、病院、被害者宅等で必要な情報の提供、相談等の迅速かつ適切な支援活動を実施した。

警察提供情報受理件数 23 件 (-5) (内ゆあさいどくまもと 19 件 (+1))

2 付添い等直接的支援事業

被害者等の要望に応じて、被害者等の精神的負担の軽減を図るため、病院受診や弁護士相談、裁判所等への付添い等の支援を行った。

警察関連支援	9件（－ 6）
裁判関連支援	59件（－ 13）
検察庁関連支援	15件（－ 14）
弁護士相談付添	28件（－ 32）
行政窓口等への付添	3件（－ 1）
病院付添	20件（－ 1）
カウンセリング付添	5件（－ 1）
自宅等訪問	10件（－ 24）
物品の供与・貸与	0件（± 0）
生活支援	0件（± 0）
宿泊施設提供	0件（± 0）
支援金等の支給	6件（－ 2）
その他	8件（－ 11）
合計	163件（－ 103）

※その他 関係機関連絡調整、情報収集・提供等

3 物品の供与事業

昨年度は、実績なし

4 緊急支援金支給事業

性犯罪被害者に対し、緊急避妊治療費用・性感染症検査費用として、緊急支援金を支給した。

支給件数 5件（±0）

5 犯罪被害者等給付金申請補助事業

被害者等の相談を受ける中で、犯罪被害者等給付金の支給対象となる可能性がある被害者に対して、制度の概要及び手続き等の説明を行った。

概要説明 1件 申請補助件数 3件

6 犯罪被害者等見舞金申請補助事業

熊本県犯罪被害者等見舞金の申請に係る相談を受理し、必要な書類の準備の付き添い等申請手続きの補助を行った。

相談者数 5人 対応件数 8件 申請件数 1件

第3 自助グループ支援事業

1 自助グループ「さくらの会」活動支援

被害者等への長期的な支援として、殺人事件や交通事故の被害者遺族が、つらい経験を被害者等同士で語り合うことで被害の克服を図ることを目的に集う自助グループ「さくらの会」に対して、交流場所の提供等を行った。

(1) 会員 21名（±0）

(2) 定例会 毎月第2水曜日 13:30～15:30

2 性暴力被害者のための自助グループ「ラグラスの会」活動支援

性暴力被害当事者への長期的な支援として、被害当事者同士が、つらい経験を語り合うことで被害の回復を図ることを目的に集う自助グループ「ラグラスの会」に対して、交流場所の提供等を行った。

(1) 会 員 4名

(2) 定例会 毎月第1土曜日 14:00~15:30

第4 関係機関・団体等との連携による被害者支援事業

1 警察等との連携及び情報提供

警察、検察庁等と、被害者支援に関する情報交換を行い、各機関の活動状況の他、個別案件に関する情報についても可能な範囲で入手し、被害者対応に反映させた。

また、熊本県警本部において、くまもと被害者支援センター相談員傾聴会が開催され、広報県民課長、捜査第一課及び交通指導課職員等と意見交換を行った。

2 各種協議会への参加

各種協議会に出席し、関係機関にセンターの活動状況を積極的に紹介するとともに、被害者支援情報の交換や相互協力の確認等を行った。

熊本県犯罪被害者支援連絡協議会

子どもの命と権利を守る活動推進協議会

熊本市人権啓発市民協議会

熊本市要保護児童対策地域協議会（中央区、東区、西区、北区）

八代市生活安全推進協議会

3 公益社団法人全国被害者支援ネットワークとの連携

「全国被害者支援ネットワーク」との連携を図り、研修会等への参加（WEB参加を含む）等を図りながら支援機能の向上に努めた。

4 産婦人科医療機関、精神科医療機関との連携

性暴力被害者の心身の負担を軽減するため、産婦人科医療機関とのネットワークを構築し、被害者に対する医療措置の要請、受診時における付き添い等の連携を図った。

また、精神的なケアを必要とする被害者への支援について、精神科医療機関へ協力依頼を行った。

5 行政との連携

内閣府男女共同参画局男女間暴力対策課の視察を受け入れ、性暴力被害に関する相談支援について、現状と課題等について意見交換を行った。

熊本県中央児童相談所、女性相談センターと連携会議を開催し、それぞれの活動内容等について情報共有を図り、今後の連携のあり方について確認した。

第5 相談員・被害者支援ボランティアの養成及び研修事業

1 被害者支援ボランティアの養成

日 時 令和4年9月1日（木）～10月27日（木）

場 所 熊本テルサ研修室 他

内 容 6回20時間

受講者数 9名 縣市町村担当者等聴講者 6名
修了者数 6名

2 支援活動員（直接支援員等）の養成

- (1) 令和3年度及び4年度のボランティア養成講座修了生を対象に、直接的支援員養成専門研修を実施した。

日 時 令和4年12月10日（土）～令和5年2月21日（火）
場 所 くまもと被害者支援センター相談室他
内 容 講義6回18時間・実務研修6回（電話モニター等）
受講者数 2名

- (2) 直接支援に従事していない電話相談員のうち希望者に対し、OJT研修としてゆあさいど出前講座の見学等を行った。

3 全国被害者支援ネットワーク主催研修等への派遣

全国被害者支援ネットワーク等が開催する研修会等に相談員を派遣した。

- (1) 全国フォーラム・全国秋期研修

開催日 令和4年10月14日～16日
参加人数 4名（+WEB受講2名）

- (2) 令和4年度自助グループファシリテーター育成研修

開催日 令和4年12月2日～3日
参加人数 1名

- (3) 九州ブロック質の向上研修（上期）

開催日 令和4年7月2日～3日
参加人数 4名

- (4) 九州ブロック質の向上研修（下期）

開催日 令和5年2月4日～5日
参加人数 2名（+オブザーバー参加2名）

- (5) 課題研修（上級）

開催日 令和4年7月25日～27日
参加人数 1名

- (6) 2022年度直接的支援実地研修（都民センター主催）

開催日 令和5年1月16日～20日
参加人数 1名

4 相談員・直接支援員等に対する研修会の開催

- (1) 直接支援員継続研修

直接支援員として支援活動に必要な専門的知識や技能を習得してもらうための継続的な研修を実施した。

日 時 令和4年5月12日（木）～令和5年3月9日（木）
奇数月の第2木曜日 10:00～12:00

場 所 くまもと被害者支援センター相談室

- (2) 「ゆあさいどくまもと」電話相談員継続研修

ハイブリッド研修など、参加しやすい環境を整えながら、電話相談員として必要な専門的知識や技能を習得してもらうための継続的な研修を実施した。

日 時 令和4年4月20日（水）～令和5年3月15日（水）

毎月第3水曜日 13:30～16:30

※オンライン研修 9月 ハイブリッド研修 10月～1月

場 所 県庁西側事務棟会議室、県民交流館パレア

(3) 「ゆあさいどくまもと」電話相談員による委員会活動

企画、運営等の能力向上を図るため、研修、広報、出前講座の3つの委員会を設置し、活動を行った。

① 研修委員会

参加人数 5名 ・活動回数 11回

活動内容 「ゆあさいどくまもと」電話相談員継続研修の企画・運営

② 広報委員会

参加人数 4名 ・活動回数 7回

活動内容 IT関連の勉強会、ツイッターによる情報収集及び拡散

③ 出前講座委員会

参加人数 8名 ・活動回数 7回

活動内容 「ゆあさいどくまもと」出前講座プログラムの作成、講師

5 スーパービジョンの実施

(1) SV検討会議

スーパーバイザーとして委嘱している弁護士、精神科医、公認心理師、社会福祉士等により専門的立場から指導助言をいただくとともに、直接支援員の相談に応じていただく等、相談員のスキルアップやメンタルケアに努めた。

実施回数 6回

(2) 支援連絡会議（ケース検討会）

日 時 令和4年4月14日（木）～令和5年3月9日（木）

毎月第2木曜日 13:30～15:30

場 所 くまもと被害者支援センター相談室

第6 被害者等の実態等に関する調査及び研究事業

1 先進的取り組み等の調査及び研究事業

全国被害者支援ネットワーク主催研修等に参加した際に、積極的に他団体・機関等からの参加者と交流を図り、先進的な取り組み等について情報交換を行った。

2 刊行物等からの情報収集

被害者等の実態等に関する情報や、当センターの支援対象となる事件の裁判等に関する情報を他団体の機関誌や新聞、雑誌等の刊行物から収集し、支援の際の参考にするるとともに、相談員の研修資料等として活用した。

Ⅲ 犯罪被害者等の支援に関する広報及び啓発事業（公益目的事業2）

第1 広報啓発事業

1 機関誌及びリーフレットの作成・配布事業

犯罪被害者支援活動を効果的に推進するため、機関誌「センターニュース」第36号

を作成し、正・賛助会員、関係機関・団体、企業等に配布し、被害者支援意識の向上を図った。

2 各種広報媒体を活用した広報啓発事業

- (1) 当センターの活動内容等を紹介したホームページを活用し、広報啓発を推進した。
- (2) ラジオ、タウン誌を活用し、イベントの告知等を行った。

3 広報啓発イベントの実施

(1) 犯罪被害者週間事業シンポジウムの開催

① テーマ

近年、少年による犯罪は減少傾向にあるものの、無差別殺傷等の重大事件は少なくない。そのような中、令和4年4月、民法改正による成人年齢引き下げに伴い、改正少年法が施行された。18歳、19歳の少年は「特定少年」として位置づけられ、成人と同様の刑罰も与えられるようになる。犯罪被害当事者にとって、何が変わり、何が変わっていないのか、その声は受け止められているのか。

そこで、少年法や少年事件について学び、子どもたちを被害者にも加害者にもさせないために、今後、社会はどうあるべきかについて考えるもの。

② 開催日時

令和4年11月25日（金）13:30～15:50

※WEB公開 令和5年1月6日～公開中

③ 開催場所

ホテル熊本テルサ テルサホール

④ 内 容

・オープニング 犯罪被害者ご遺族の手記「命のスケッチブック」朗読

朗読 フリーアナウンサー 政木 ゆか氏

・基調講演1「少年事件への被害者の関与について」

講師 犯罪被害者支援委員会所属弁護士 高木 百合香氏

・基調講演2「子どもたちを被害者にも加害者にもさせないために
～命の大切さを学ぶ」

講師 少年犯罪被害当事者の会 一井 彩子氏

・ロビーで、啓発パネルの展示やさくらの会の会員による写真展を行った

⑤ 共 催 熊本市

⑥ 後 援 熊本県、熊本県警察、熊本県・熊本市教育委員会、熊本県弁護士会

⑦ 参加者 約100名

(2) 啓発パネルの巡回展示

「犯罪被害者週間」にあわせ、市役所のロビー等を借りて、来庁者を対象に、啓発パネルの展示やリーフレット、エコバッグ等を配布するなどの広報啓発を行った。

① 開催期間 令和4年11月7日（月）～12月2日（金）

② 開催場所 熊本市中央区役所、山鹿市役所、合志市役所、人吉市役所 水俣市役所、御船町役場、大津町役場、イオンモール（嘉島町）

③ 内 容 「一行詩いのちのうたコンテスト2018入賞作品」等パネル8枚の 展示、くまもと被害者支援センター及び「ゆあさいどくまもと」のリー フレットやエコバッグ、ウェットティッシュ等の配布、募金箱の設置

(3) 「犯罪被害者週間」街頭キャンペーン

来所者等を対象に、「犯罪被害者週間」のチラシや、エコバッグ、ウエットティッシュ等を配布した。

- ① 開催日時 令和4年11月28日(月) 10:00~11:00
- ② 開催場所 熊本県運転免許センター
- ③ 参加団体 熊本県警広報県民課被害者支援室、大津警察署、くまもと被害者支援センター、くすの輪(大学生ボランティア)
- ④ 配布部数 300部

4 コーヒーエイドチャリティイベントの協賛

コーヒーの売上の一部を被害者支援と社会貢献のために寄付をしていくチャリティイベント「コーヒーエイド2022」に協賛するとともに、職員等もボランティアとして参加し、来場者にリーフレットやウエットティッシュ等を配布するなど支援センターの広報啓発活動を行った。

- ① 開催日 令和4年7月9日(土)・10日(日)
- ② 開催場所 鶴屋東館7階ホール
- ③ 主催者 カーマストコーヒーショップ(交通事故被害者ご遺族)
- ④ 参加職員等数 12名
- ⑤ 寄付金 カーマストコーヒーショップ他8店より661,482円

5 ゆあさいどくまもと出前講座の実施 ※()内は、前年比増減数

(1) 実施回数 42回(+15)

(2) 受講者数 6,751名(+2,036)

中学校 14校 3,219名 高校 14校 2,932名 大学 なし
小中一貫校 1校 65名 聾学校(中高) 1校 46名
県内幼稚園小中高校の教職員及び保護者 9件 439名
その他 2件 50名

6 被害者支援に関する講話の実施

県警や刑務所、各種団体に対し、被害者支援センターの活動内容や被害者の置かれた状況等についての講話を行った。

第2 ファンドレイジング事業

1 被害者支援寄付金付き自動販売機の設置促進

飲料メーカーの社会貢献活動の一環として推進される「被害者支援自動販売機」の設置を促進し、設置店等や飲料メーカーからの寄付金による財政基盤の強化を図った。

被害者支援自動販売機設置状況

年度	H24~30	R元	R2	R3	R4	
設置数	新規	151	3	0	1	8
	撤去	25	1	0	22	2
	累計	126	128	128	107	113
寄付額(円)	9,713,421	2,528,508	2,101,981	2,101,321	2,026,070	

2 募金箱の設置促進及び街頭募金活動の実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、街頭募金活動は実施できなかった。

募金箱の設置状況（常設の募金箱による募金は寄付金として処理）

県警本部・各警察署等 35台 企業・団体 14台
べんとうのヒライ 58台

3 寄付金及び賛助会員募集の呼びかけ

県警や関係機関等の協力を得て、寄付金を獲得することができた。

賛助会員の継続加入と新規会員の獲得に向けて、各種資料の送付を行ったが、社会経済低迷の影響等により、退会者が増え、会員数の減少を止められなかった。

(1) 寄付金の受付状況（常設の募金箱、ホンデリングによる寄付金を含む）

5,528,621円（うち指定寄付1件 300万円）

(2) 賛助会員の状況

（退会には、3年間未納者を含む）

		新規加入	退会	令和4年度末現在
賛助会員数	個人（人）	8	36	467
	法人（団体）	0	14	386
	合計	8	50	853
会費合計				6,515,000円

IV 管理部門

第1 会議の開催

1 定時総会及び理事会の開催

(1) 令和4年度定時総会

日時 令和4年5月27日（金）10:00～11:00

場所 ホテル熊本テルサ

審議事項 令和3年度事業報告（案）について
令和3年度決算報告（案）について
役員を選任（案）について

報告事項 令和4年度事業計画について
令和4年度収支予算について
正会員の入・退会について
職員の受賞について

(2) 令和4年度第1回理事会

日時 令和4年5月12日（木）9:30～10:30

場所 ホテル熊本テルサ

審議事項 令和3年度事業報告（案）について
令和3年度決算報告（案）について

令和4年度補正予算（案）について
就業規程の一部改正（案）について
正会員の入会（案）について
役員（補欠理事）の選任（案）について

(3) 令和4年度第2回理事会

日 時 令和4年5月27日（金）11:00～11:30
場 所 ホテル熊本テルサ
審議事項 就業規程の一部改正（案）について
報告事項 職員の処分について

(4) 令和4年度第3回理事会

日 時 令和5年3月23日（木）13:30～14:30
場 所 ホテル熊本テルサ
審議事項 令和4年度第2次補正予算（案）について
令和5年度事業計画（案）について
令和5年度収支予算（案）・資金調達及び設備投資の見込みについて
被害者支援緊急サポートチーム運用積立金に関する規程の新設（案）について
就業規程の一部改正（案）について
職員給与規程の一部改正（案）について
非常勤職員任用等取扱規程の一部改正（案）について
入会手続等に関する規程の一部改正（案）について
支援活動員になり得る者の認定（案）について
令和5年度定時総会の開催日程（案）について
報告事項 正会員の退会について
就業規程の一部改正に伴う関連規程の運用について

2 熊本県公安委員会への報告

熊本県公安委員会へ、令和3年度事業報告書及び収支計算書、令和4年度事業計画書及び収支予算書等を提出し、適切に報告を行った。

第2 業務執行体制の整備と強化

1 「犯罪被害者等早期援助団体」としての基盤強化

効率的な業務運営に努めた。また、日本財団の助成を受け、3年計画で支援活動責任者として育成中であった職員が12月末で退職したため、来年度4月から新規職員を採用し、体制強化を図る。

2 「ゆあさいどくまもと」の業務管理

「ゆあさいどくまもと」業務を円滑に運営することができた。
また、WEBを活用した研修の実施等相談員のさらなる資質向上に努めるとともに、組織の活性化を図った。

3 財政基盤の強化

賛助会員の減少傾向に歯止めがかからず、財政基盤の安定と強化に向けて、さらなる工夫と努力が必要である。

事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年度くまもと被害者支援センター相談支援活動集計表

<相談活動関係>

	件						人								男女別			
	新	相談の方法					計	被害者との関係								男	女	不明
		電話	電子メール	手紙	面接	その他		本人	夫または妻	父または母	親族	子ども	友人・知人等	他機関	計			
殺人(傷害致死)	1	11	12	2	7	32	4	23	3	1	2	1			34	3	29	
強盗(致死傷)	1	8			2	10	10								10		10	
強制性交等(準含)	58	263	82	1	48	396	220	2	85	10		20	73	410	57	340		
監護者性交等	2	16	1		1	18	3	1					16	20	13	5		
強制わいせつ(準含)	44	258	97	2	61	418	194	1	153	6		10	85	449	50	368		
監護者わいせつ	4	11	8		4	24	2		16	3			5	26	3	20		
その他の性的被害	66	212	57	1	26	296	201	1	54	2		9	45	312	62	231	3	
暴行・傷害	10	17	2		4	23	16		5			1	3	25	7	15		
その他の身体犯						0								0		1		
危険運転致死傷						0								0				
交通死亡事故	1	23	2	2	1	28		8	14	1			6	29	6	22		
交通事故	5	6				6	4			1			1	6	3	3		
財産的被害	12	12				12	8	1		1			1	12	7	5		
DV	10	21	8		2	31	26		4				1	31	2	26	2	
ストーカー	6	9	3			12	11		1					12	3	9		
虐待						0								0				
死別・自殺		1				1			1					1		1		
災害被害						0								0				
その他	66	189	27			216	190	1	7	1	2	8	7	216	65	143	9	
計	286	1057	299	8	156	1523	889	37	344	24	7	49	243	1593	281	1228	14	

1367

件

相談の端緒										計
マスメディア	H P	書籍	リーフレット	警察教示	警察提供	紹介機関からの	サポーターからの	その他の	不明	
4	86	0	11	7	15	56	1	23	83	286

<直接的支援関係>

	件													件			
	警察関連支援	裁判関連支援	検察庁関連支援	弁護士添付添い	行政窓口等への付	病院付添い	付添い	力添い	自等訪問	物品の供与・貸与	生活支援	宿泊施設提供	支援金等の支給	その他	計	心理相談	法律相談
殺人(傷害致死)	3							1							4	2	
強盗(致死傷)							1								1		
強制性交等(準含)	16	6	6		14	1	1					5	3	52	1	3	
監護者性交等							1							1			
強制わいせつ(準含)	5	33	9	14		6	1	6						78		11	
監護者わいせつ		2		4										6		1	
その他の性的被害	1	8		4	3		1						1	18		3	
暴行・傷害							2					1		3			
その他の身体犯														0	2		
危険運転致死傷														0			
交通死亡事故														0			
交通事故														0			
財産的被害														0			
DV														0			
ストーカー														0			
虐待														0			
死別・自殺														0			
災害被害														0			
その他														0			
計	9	59	15	28	3	20	5	10	0	0	0	6	8	163	5	18	